

2022年5月19日

受益者のみなさま

三菱UFJ国際投信株式会社

弊社ファンド運用委託先の運用チーム移管について

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は弊社の投資信託に格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、アリアンツ・グローバル・インベスターズ（以下、アリアンツGI）の米国法人であるアリアンツ・グローバル・インベスターズ・ユーエス・エルエルシー（以下、アリアンツGI米国法人）に運用指図に関する権限を委託する弊社ファンドにつきまして、担当運用チームがヴォヤ・インベストメント・マネジメントに移管されることが関係当事者間で暫定合意に達したとの連絡を受領いたしましたのでご連絡申し上げます。

本件の趣旨についてご理解賜りますとともに、今後とも弊社投資信託をご愛顧の程、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

【対象ファンド】

- ・サイバーセキュリティ株式オープン（為替ヘッジあり）
- ・サイバーセキュリティ株式オープン（為替ヘッジなし）

【運用チーム移管の背景】

2020年のコロナショックにおいて、アリアンツGI米国法人に所属するストラクチャード・プロダクト・グループの運用するヘッジファンドが大幅な損失を計上いたしました。米国当局が調査したところ、同グループでは過少なリスク説明や実態と相違したパフォーマンスの報告などの不正行為が行われていたことが判明いたしました。

その結果、2022年5月17日に米国当局からアリアンツGI米国法人に対し、10年間の公募投資信託の運用の禁止という処分が下されました。ただし、少なくとも2022年7月26日までは処分の猶予が認められています。

一方で、不正を働いたグループ以外の運用チーム（対象ファンドの運用チームを含む）は、不正に一切関与していないことが明らかになったことから、以前より米国内の提携について協議していたヴォヤ・インベストメント・マネジメントへ移管し、これまでの運用を継続することを関係当事者間で暫定合意に至りました。

【移管先のヴォヤ・インベストメント・マネジメントについて】

対象ファンドの運用チームの移管先であるヴォヤ・インベストメント・マネジメントは、40年以上の運用実績を持つ米国の運用会社です。2022年3月末時点の運用資産は、約2,540億米ドル（約31兆円）です。

【今後の対応方針】

移管後も対象ファンドの運用体制および運用プロセスは維持されるとの一報をアリアンツGIより受領いたしましたが、弊社として変更がないことの確認を実施する方針です。

また、運用チームの移管は7月26日までに行われる予定です。今後の決定事項につきましては、弊社ホームページにてお知らせいたします。なお、今回の運用チームの移管に関しまして、受益者のみなさまのお手続きは不要です。

以上

- ・ 本お知らせに関するお問い合わせ
三菱UFJ国際投信 お客さま専用フリーダイヤル 0120-151034
【受付時間／9：00～17：00（土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）】
- ・ 受益者さまの個別のお取引内容についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社の本支店へお問い合わせください。